

おひな様

及川ふみ

材料

畫用紙八ツ切、或は千代紙

作り方

別紙構作圖は實物大でありますから、そのまゝの大きさで作るこまが出来るのでありますが、別の紙に構圖する時は、直徑一センチの圓を二つ隣接して畫き、この圓周を半徑で切つて正六角形を作つて、二つの圓の隣接してゐる二角のまゝはそのままの圓にしておいて、他の部分は六角形に切りおきます。

千代紙で作るこまは、前面の袖のおりかへしの部分へ、つまり點線のイロハの部分の裏側に表の模様を配合のよい無地の色紙をはればよいのであります。

畫用紙で作る場合には、表に出る部分は模様なきつて

謄寫して、幼兒にぬらせたり、或は全く幼兒の好きな模様をかゝせなきするのによいのであります。この時は前の袖のおりかへしは裏側に適當の無地の色をぬらせればよいのであります。

始めに前後の二つの圓を連らねる縦の點線の折目をつけ、次に横の點線の折目をつける。袖のおりかへしは、點線に従つていづれも外側へ外側へ三度折つて、胴のまゝろへつくまゝのイの部に糊を軽くつけます。

出來上つた胴に少しふくらみをつけるために、直徑よりも一センチ五ミリ短き構圖ニをイの點線の上の部に横にはつて前後の胴をつけ合せます。

顔は輪廓だけ畫用紙に謄寫したものに、幼兒自身に或は墨で、或は鉛筆でかゝせて貼りつけるまゝのよいのであります。